

ZAMA **Benchmarking**

2019

～座間を知るデータブック～

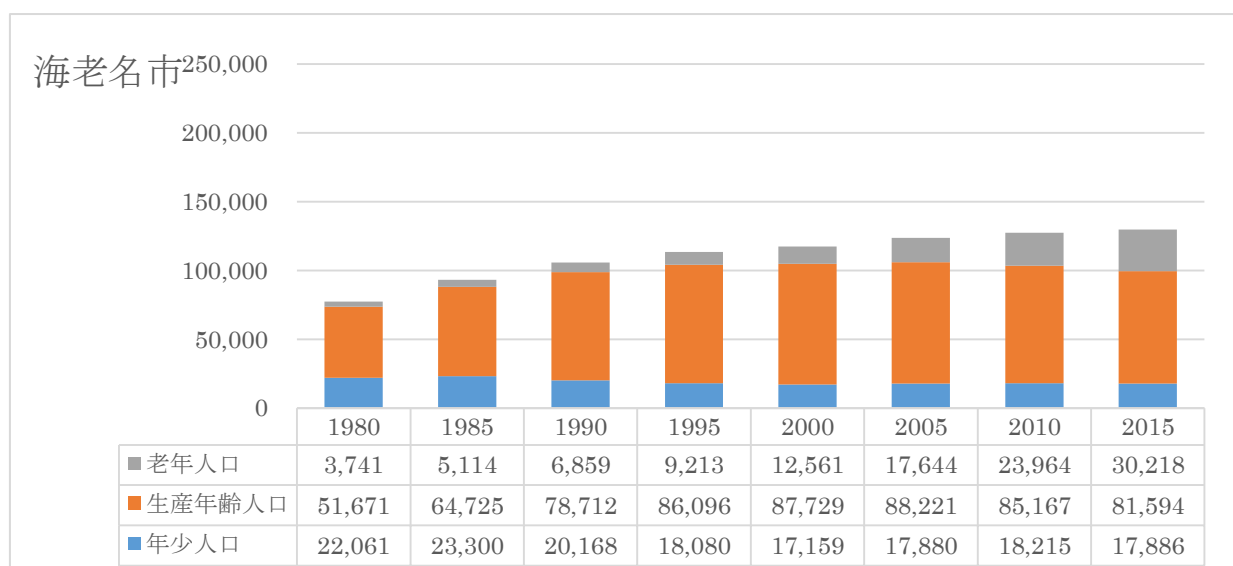
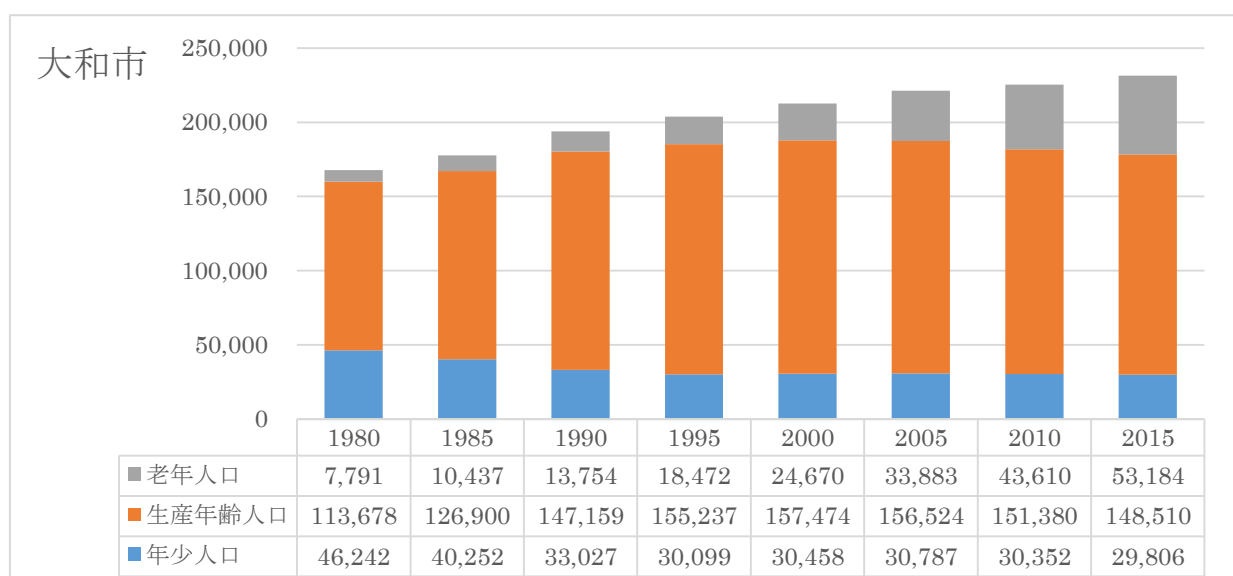
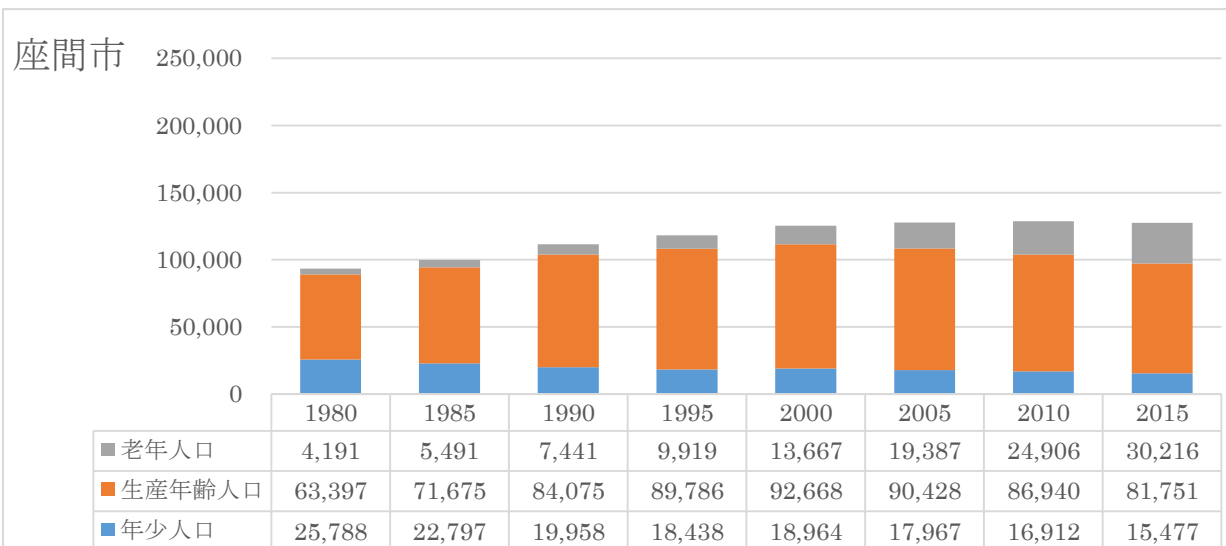
神奈川県が公表している「財政状況資料集」及び地方創生の様々な取組を情報面から支援するために、経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）が提供している「地域経済分析システム（RESAS：リーサス）」（以下「RESAS」という。）を利用し、座間市と近隣市（大和市、海老名市、綾瀬市、厚木市）を比較した結果をまとめました。

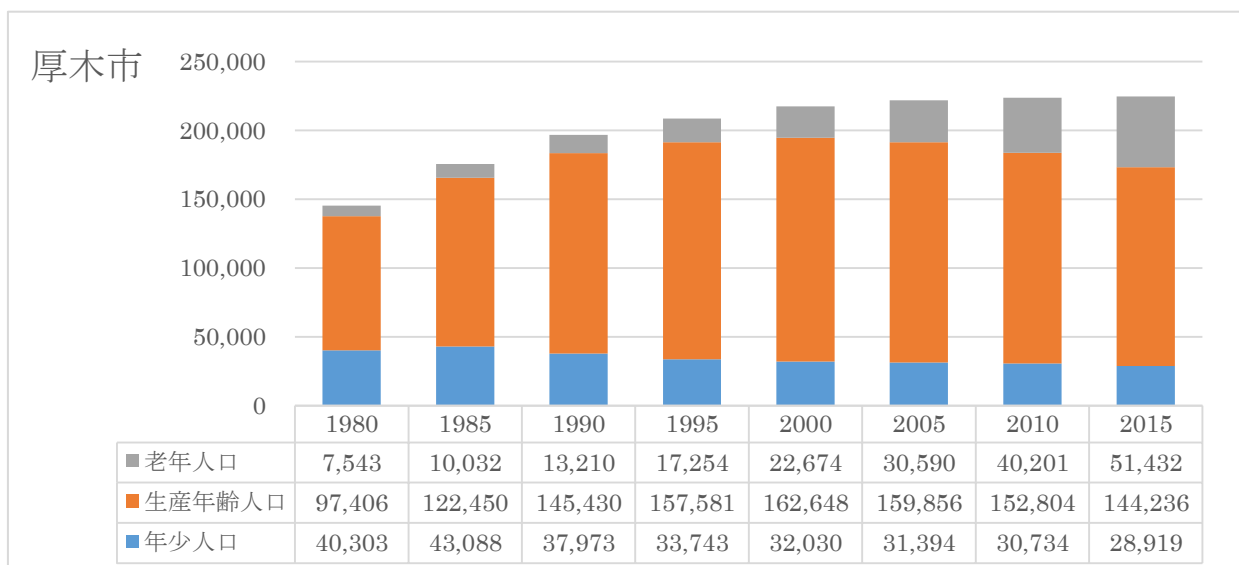
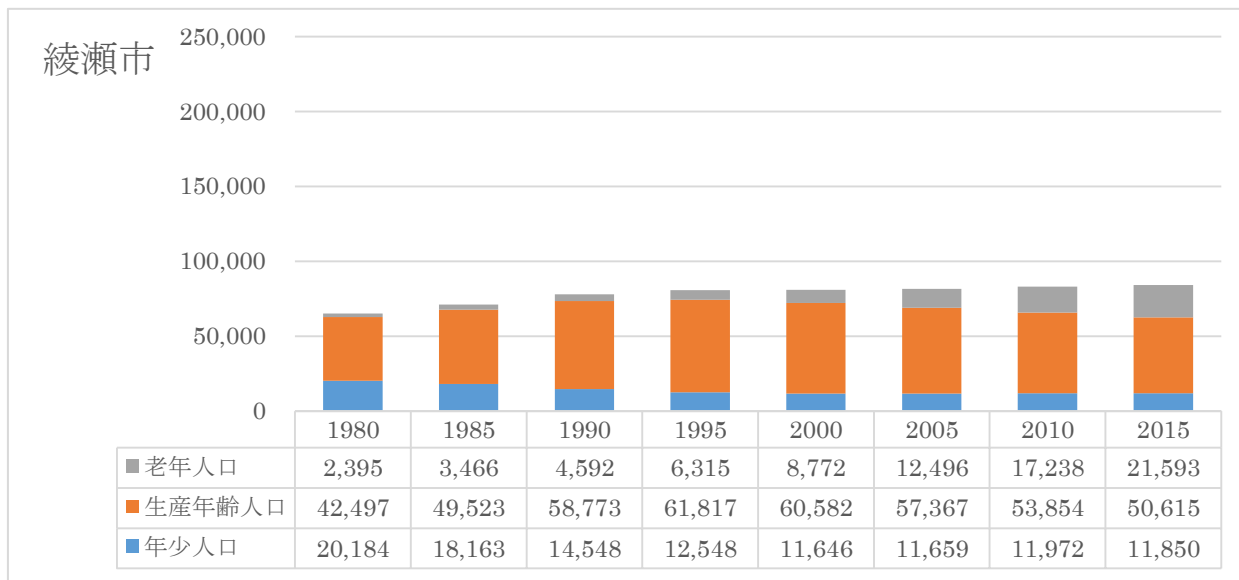
目次

1	人口推移	3
2	主要財政指標比較	5
3	目的別歳出決算額の比較（構成比）	7
4	目的別歳出決算額の比較（人口1人当たりのコスト）	8
5	市内従業者数の推移	9
6	市内事業所数の推移	10
7	1人当たり地方税の推移	11
8	1人当たり固定資産税の推移	12

※ 昨年まで掲載していた「目的別歳出決算額における特定項目比較」は、出典元のRESASから取得できなくなったため、掲載しません。

1 人口推移





【出典】

RESAS

総務省（2015年）『国勢調査』

2 主要財政指標比較

	座間市	大和市	海老名市	綾瀬市	厚木市
(1) 財政力指数	0.89	0.97	1.01	0.92	1.15
(2) 経常収支比率	90.6%	97.4%	92.6%	95.6%	84.7%
(3) 将来負担比率	14.4%	28.4%	20.5%	52.9%	48.8%
(4) 実質公債費比率	1.4%	0.7%	0.8%	8.0%	2.6%
(5) 人口千人当たり職員数	5.59人	5.25人	5.77人	6.75人	6.49人
(6) ラスパイレス指数	102.0	99.1	102.4	102.2	100.6
(7) 人口1人当たり人件費・物件費等の決算額	99,055円	99,967円	107,999円	108,875円	127,493円

【出典】神奈川県（平成29年度）『財政状況資料集』

【注記】

(1) 財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

(2) 経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合。この指標は経常的経費に経常一般財源収入がどの程度充当されているかを見るものであり、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

(3) 実質公債費比率

当該地方公共団体の一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額（※1）に対する比率。借入金（地方債）の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示す指標ともいえる。地方公共団体財政健全化法の実質公債費比率は、起債に協議を要する団体と許可を要する団体の判定に用いられる地方財政法の実質公債費比率と同じ。

※1 標準財政規模から元利償還金等に係る基準財政需要額算入額を控除した額

(4) 将来負担比率

地方公社や損失補償を行っている出資法人等に係るものも含め、当該地方公共団体の一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額（※2）に対する比率。地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標ともいえる。

※2 標準財政規模から元利償還金等に係る基準財政需要額算入額を控除した額

(5) 人口千人当たり職員数

人口千人当たりの職員数

(6) ラスパイレス指数

加重指数の一種で、重要度を基準時点（又は場）に求めるラスパイレス式計算方法による指数。ここでは、地方公務員の給与水準を表すものとして、一般に用いられている国家公務員行政職（一）職員の俸給を基準とする地方公務員一般行政職職員の給与の水準を表している。

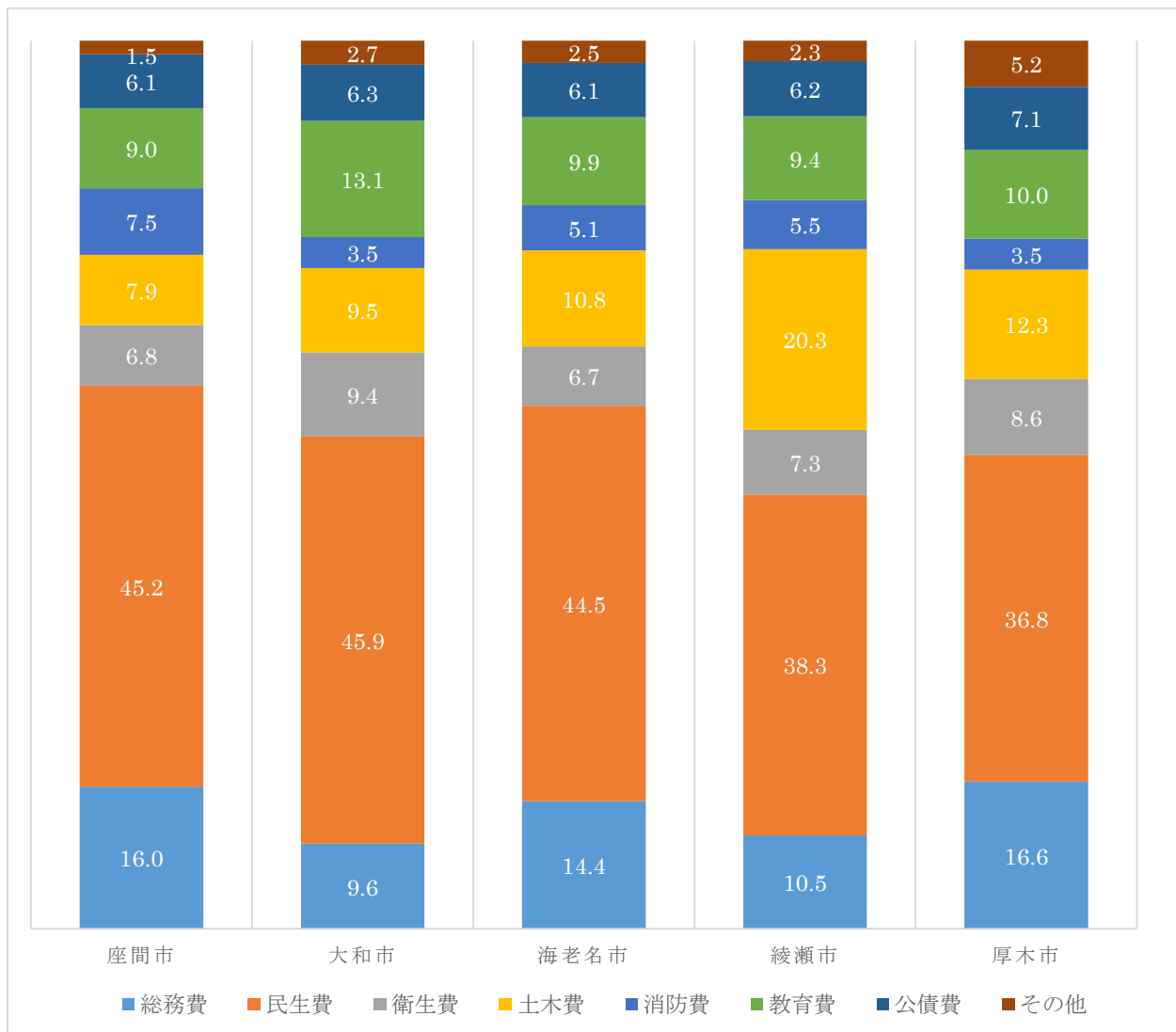
(7) 人口1人当たり人件費・物件費等の決算額

人口1人当たりの人件費、物件費及び維持補修費の合計。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

3 目的別歳出決算額の比較（構成比）

単位：%

		座間市	大和市	海老名市	綾瀬市	厚木市
総務費		16.0	9.6	14.4	10.5	16.6
民生費		45.2	45.9	44.5	38.3	36.8
衛生費		6.8	9.4	6.7	7.3	8.6
土木費		7.9	9.5	10.8	20.3	12.3
消防費		7.5	3.5	5.1	5.5	3.5
教育費		9.0	13.1	9.9	9.4	10.0
公債費		6.1	6.3	6.1	6.2	7.1
表中その他	議会費	0.7	0.5	0.7	0.9	0.5
	労働費	0.2	0.3	0.4	0.1	0.3
	農業水産業費	0.2	0.2	0.7	0.5	0.7
	商工費	0.4	1.7	0.7	0.8	3.7



【出典】

神奈川県（平成29年度）『財政状況資料集』

4 目的別歳出決算額の比較（人口1人当たりのコスト）

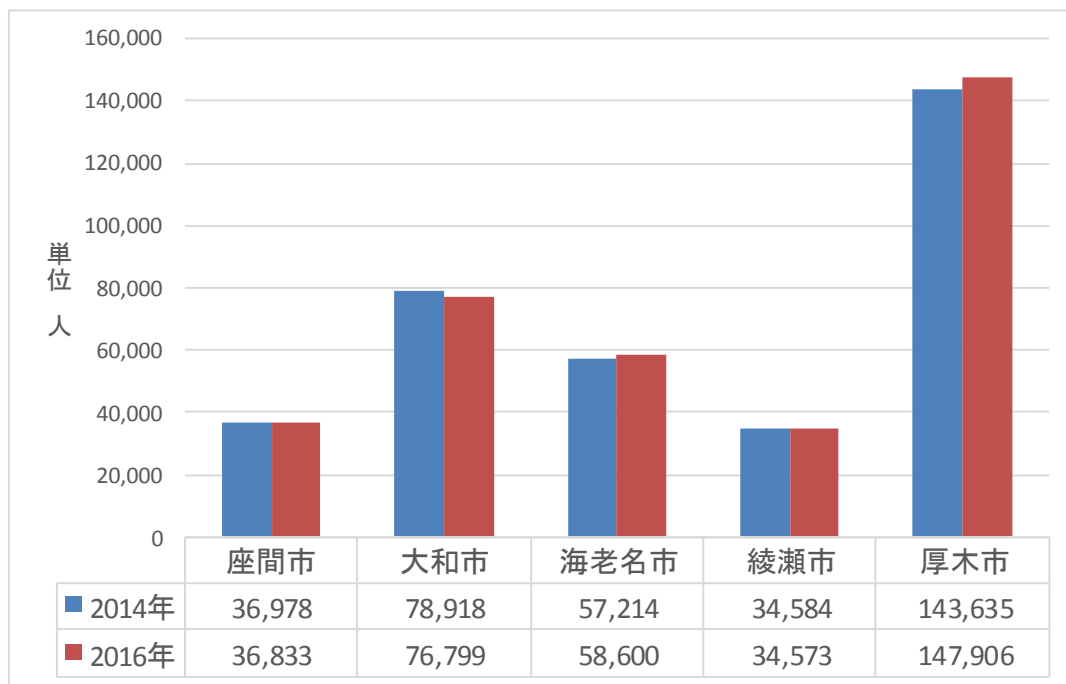
単位:円

	座間市	大和市	海老名市	綾瀬市	厚木市
議会費	2,135	1,615	2,276	3,166	1,971
総務費	51,963	29,733	43,818	37,473	62,626
民生費	146,868	141,949	135,214	136,154	139,015
衛生費	22,075	29,041	20,404	26,125	32,345
労働費	729	975	1,098	498	1,270
農林水産業費	642	470	2,187	1,819	2,796
商工費	1,392	5,380	2,088	2,782	14,023
土木費	25,551	29,319	32,954	72,214	46,463
消防費	24,372	10,846	15,421	19,728	13,064
教育費	29,417	40,374	30,111	33,306	37,674
災害復旧費	0	0	0	0	0
公債費	19,886	19,388	18,488	22,217	26,855
諸支出金	0	0	0	0	0
前年度繰上充用金	0	0	0	0	0

【出典】

神奈川県（平成29年度）『財政状況資料集』

5 市内従業者数の推移



	2016年 県内順位	2016年 全国順位
座間市	15	301
大和市	9	148
海老名市	11	185
綾瀬市	16	311
厚木市	5	70

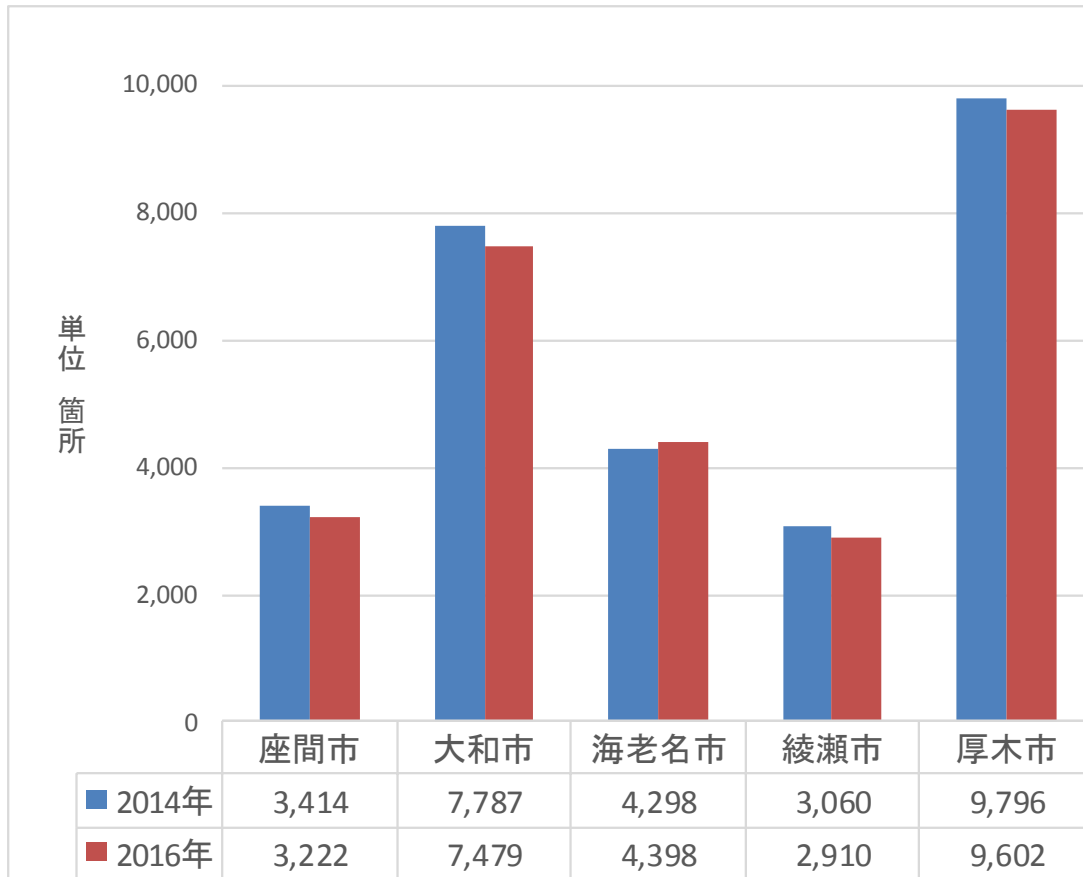
【出典】

RE S A S

総務省『経済センサスー基礎調査』

総務省・経済産業省『平成24年経済センサスー活動調査』再編加工

6 市内事業所数の推移



	2016年 県内順位	2016年 全国順位
座間市	15	353
大和市	9	142
海老名市	13	259
綾瀬市	16	392
厚木市	6	114

【出典】

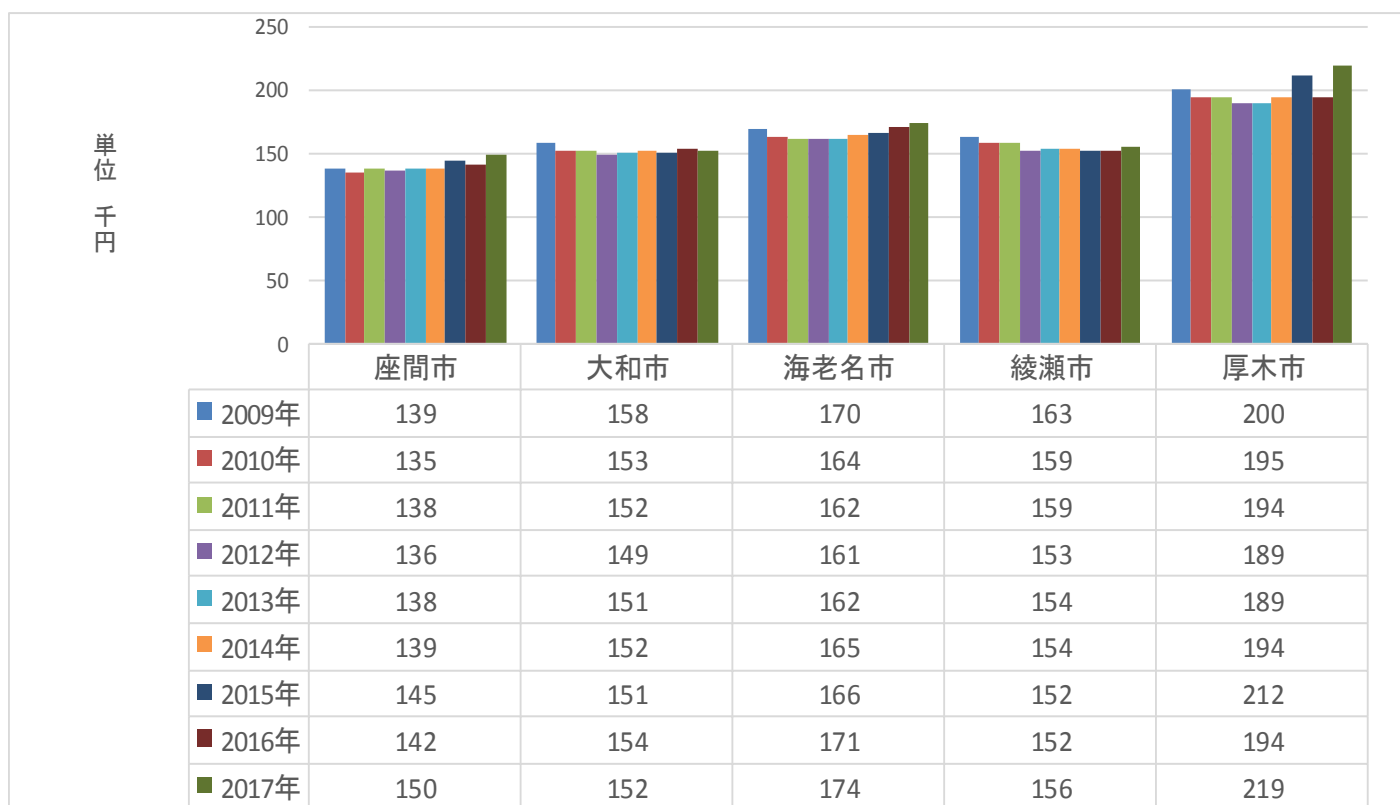
RESAS

総務省『経済センサスー基礎調査』

総務省・経済産業省『平成24年経済センサスー活動調査』

※ 会社数と個人事業所を合算

7 1人当たり地方税の推移



	2017年 県内順位	2017年 全国順位
座間市	25	413
大和市	23	395
海老名市	12	215
綾瀬市	22	354
厚木市	4	90

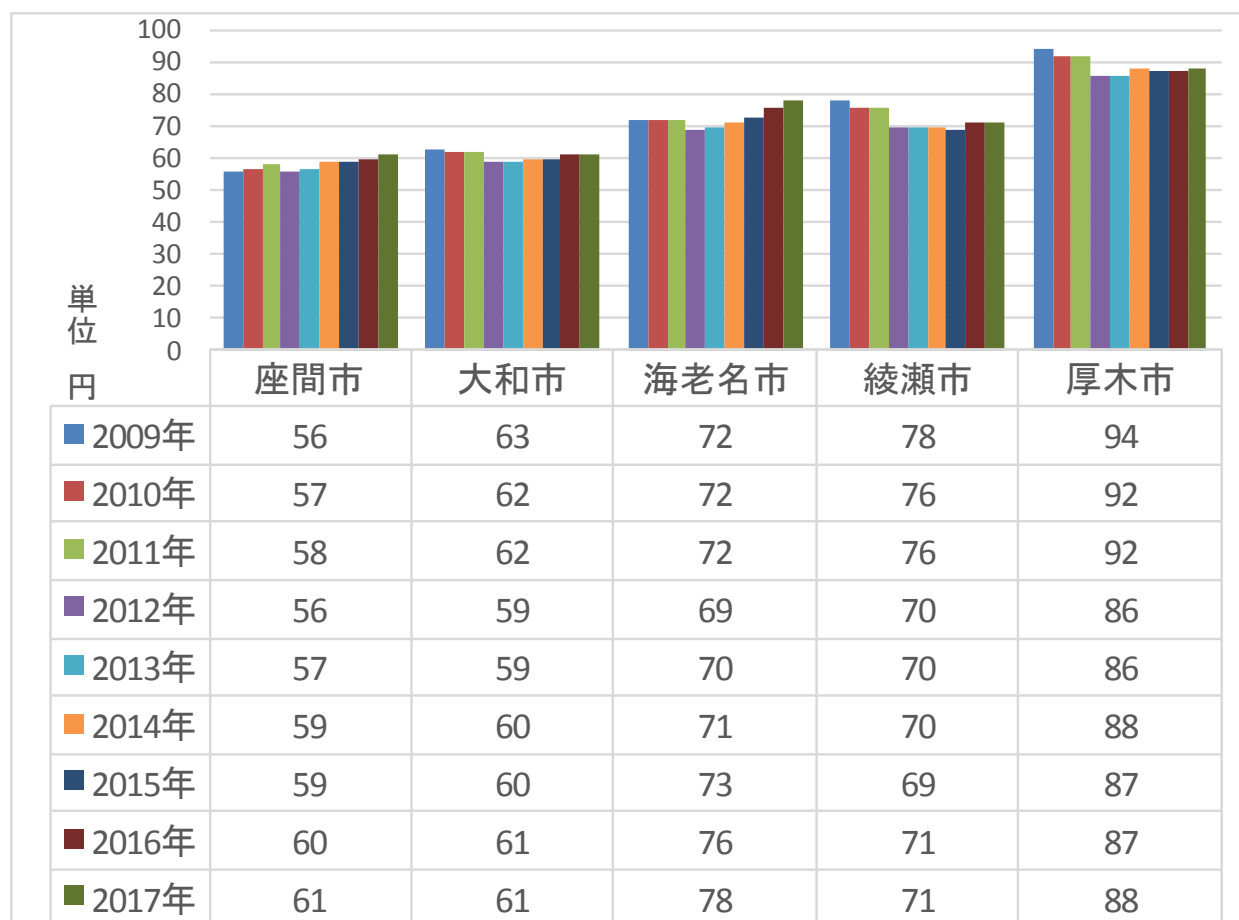
【出典】

RESAS

総務省『地方財政状況調査関係資料』

総務省『住民基本台帳人口に基づく人口、人口動態及び世帯数調査』

8 1人当たり固定資産税の推移



	2017年 県内順位	2017年 全国順位
座間市	26	685
大和市	26	685
海老名市	13	293
綾瀬市	18	410
厚木市	8	202

【出典】

RESAS

総務省『地方財政状況調査関係資料』

総務省『住民基本台帳人口に基づく人口、人口動態及び世帯数調査』